

良い気づきを多く発生させましょう

2020 年 12 月 1 日

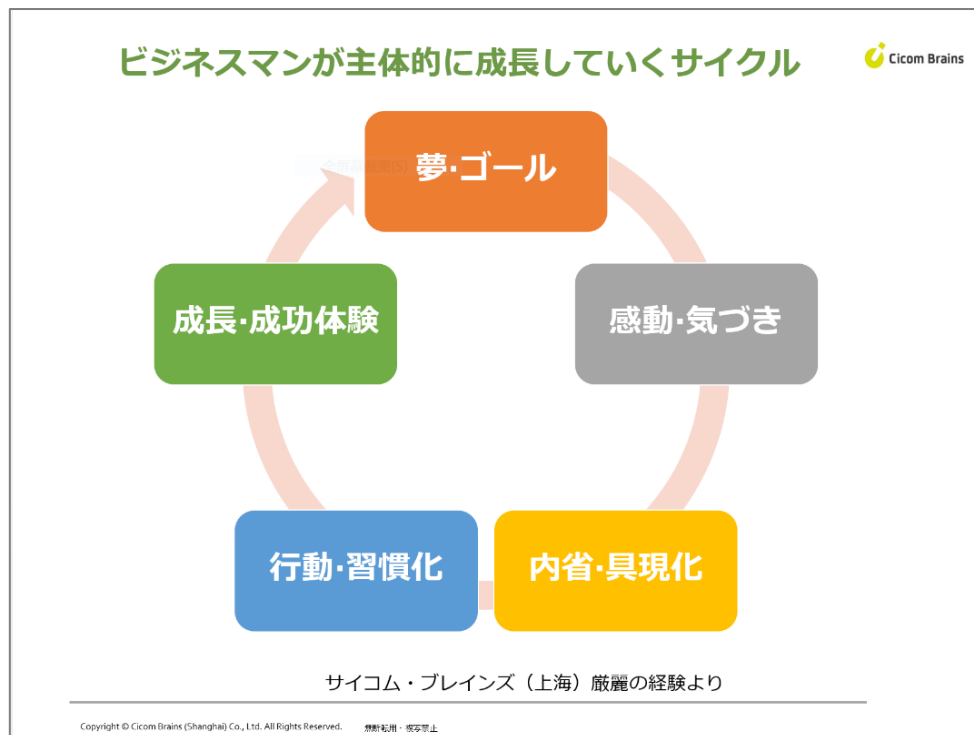
サイコム・ブレインズ（上海）総経理 厳 麗

你好。初次线上见，请多关照！

サイコム・ブレインズ（上海）の厳です。皆さんは、「W11（ダブルイレブン）」をご存知でしょうか？中国では、1（シングル）が並ぶ、11 月 11 日を「独身の日」としてお祝いする文化があり、独身の日にはショッピングを楽しもう！と EC ショッピング最大手のアリババ社が 2009 年からセールイベントを始めました。この W11 セールが人気を集め、今では、中国最大の EC ショッピング・イベントとして中国の人々に広く周知されています。さて、W11 の翌日である 11 月 12 日に、私たちは上海日本商工クラブ主催の「杭州市アリババ・HIK ビジョン視察会」に参加し、中国・杭州が誇る 2 社を見学して参りました。今回は、視察会の様子を皆さんに共有したいと思います。

まず、一つ前置きをしておきたいと思います。中国のネット上で、よく「人設」という言葉が使われます。「人設」とは、俳優や網紅（ワンホン。※中国版 Youtuber のこと）が、ファンから人気を集めるための人物設定を指す言葉です。人設と異なる言動や事実がうっかり表に出てしまうと、一気にファンが離れてしまうので、俳優や、網紅といった職業のひとたちは、常に自分の在り方、他者から見える人物像を意識してふるまう必要があります。

私も、社員やお客様とのやりとりの中で、このような「人設論」を語っております。例えば、サイコム・ブレインズ（上海）は、お客様に対して人材教育ソリューションを提供する立場であると同時に、私を含めた社員自身が、「継続的な学びにより、明るいキャリアの未来を拓く」状態で存在すべきだと認識しております。



上の図は、ビジネスマンの成長サイクルを、私自身の経験に基づき、図にしたものです。このサイクルのはじまりであると同時に、最も重要な部分が「感動・気づき」ではないかと思っています。私は、17 年間、人材育成領域で様々なチャレンジに直面してきましたが「このままではいけない」「こうなればもっと良くなる」といった素朴な気づきによる心の変容こそが、その後の行動、成長のステップを生む、最重要ポイントだと認識してきました。私たち、サイコム・ブレインズ（上海）の使命は、一つ一つの研修の中で、参加者の皆さんにインパクトある気づき・感動を得てもらい、そこから将来の成長のためのサイクルをスタートしてもらう事です。その実現のためは、私たち自身が、成長サイクルを体現する伝道師になりたいと考えています。

さて、前置きが長くなりましたが、今回の視察会で得た私の「感動・気づき」について、二つほどご紹介したいと思います。

まず、はじめにアリババ社を訪問したのですが、見学时に、とても印象的だったのが、同社の社員が、グループ創業者である馬雲氏のことを「馬老師」と呼び、また、社員同士、互いのことを「同学」と呼びあっていたことです。英語教師としてのキャリアをもつ馬氏は「人々の人生を豊かにするサポート役になりたい」という熱い信念をもち、これまでに、若い起業家を対象者にした「湖畔大学」や、中国国内で国際教育を学ぶことができる「雲谷学校」といった学校を設立してきました。馬雲氏の「人々がより良い自分になること」への願いは、すべての個人・組織に共通する大切な願いに違いありません。



アリババ社の本拠地である西溪園区は、約 2 万の人々が住んでいるのですが、私たちが見学をしている間、アリババ社員の姿をあまり見かけませんでした。案内係の人によると「前日の W11 で 5,000 億元（約 7 兆 7500 億円）の取引を成功させた疲れがたまり、大勢の社員が休暇を取っている」とのことでした。なんともゴージャスな理由ですね！社員の皆さんは、疲れた体を休めたあと、更なる高い山の頂きにむかって、一丸となって登っていくのでしょうか。

次に訪れたのが監視カメラの世界最大シェアを持つ、ハイクビジョン社です。見学ルートのあちこちに、同社のスローガン「See Far, Go Further」が掲示されていたのですが、このスローガンからは、同社の製品開発や成長の背景にある創業者の思想、野心を感じました。同社は、2001 年の創業以降、毎年 38.85%の成長を続け、さらに、売上の 7~8%を R&D に投資することで成長を加速させてきました。見学の際、同社日本営業部チームリーダーの Frank Wang 氏が自社の歩みについて説明をしてくださったのですが、参加者にこれらのエピソードを語る際の彼の誇りと意欲にあふれた笑顔が非常に印象的でした。

先ほどの成長サイクルの図の中に、「夢・ゴール」のステップを入れていますが、実はこのステップこそ、個人・組織が自身の予想をこえた大きな成功を収めるために重要となる要素だと思っています。ハイクビジョン社のように、自社の戦略や成功について自信をも

って対外的に発表できることは、会社のさらなる成長につながりますし、社員のやる気や成果ともリンクしていきます。皆さん自身が自社の社員にむかって、輝かしい夢やゴールを語るとなると、「現状とギャップがある」「実現できるかわからない事は言いにくい」と、思われるかもしれません。しかし、現状がどのレベルにあっても、スローガンはあったほうが良いのです。特に、チームワークや和を重視する日系企業においては、独立心や個人主義の強い中国人現地社員の気持ちをひとつにまとめる上でも、スローガンの存在は大切です。例え理想論であっても、信じて発信し、実現してみましょう。

私たちは、日々気づきがあり、そこから、自分自身の状況にあわせて、正しいと思った行動や解決策をとることで成長していきます。これらを繰り返していくことが、夢・ゴール、そして、成功に至る唯一の道ではないでしょうか。今回、皆さんにご紹介したエピソードが、皆さんの気づきのひとつになりましたら幸いです。

最後になりますが、この度、サイコム・ブレインズ（上海）公式 Wechat アカウントを開設いたしました。在中日系企業様を対象とした情報発信を行ってまいりますので、是非フォローを頂けると幸いです。
それでは、皆さま、「长得好看的人都会关注思康博（上海）的微信公众号！！！」

**是非 CBS 公式 Wechat アカウントの
フォローをお願いいたします！**

